

折に触れ 四字熟語

NO.5 『大桀小桀』 たいけつ しょうけつ

< 意味 > 悪い為政者。暴虐な君主、悪逆な為政者のこと。
桀は中国古代の夏王朝最後の王。殷の紂王と並んで暴虐非道な帝王の代表とされる。

< 出典 > 「春秋公羊伝」<宣公十五年>
『什一者 天下之中正也
多乎什一 大桀小桀』

< 注釈 > 「ぜいたくして民からたくさん取るのは、桀に比せられる。」

一 言 : 為政者シリーズその1

出典は大変難解で、なかなか意味が取れませんが、税の取り方について述べられているようで、贅沢をするために民から沢山取ることはあの桀王と同じだと諫めています。

嬉しいことに、このコーナーを読んでいる親友から、次はいま問題になっている某知事を風刺するような四字熟語を取り上げたらどうだ、とアドバイスがありました。早速いろいろ調べてみましたが、私の勉強不足なのか、あるいは長い中国の歴史にもあれ程いい加減な為政者はいなかったのか、ぴったり来る熟語が見つかりません。

問題が取り上げられてから、テレビ局が実施したアンケート調査によれば、90%以上の都民が知事のやったこととその説明は納得がいかない、という結果になっており、まさに悪い為政者と言わざるをえないでしょう。

「桀」の字の中に、その知事の姓名の一字が見えるのも今回この熟語を選んだ理由でもあります。しかし、よくよく見ると、もう一画加えると私の名字になってしまうのが気になるどころです。

参考文献 : 三省堂「四字熟語辞典」 漢検「四字熟語辞典」 汲古書院「春秋公羊傳何休解詁」